

報告書

リソル生命の森株式会社日本メディカルトレーニングセンター見学および職員へのヒアリング・意見交換

開催日時

2017年8月30日（水）～2017年8月31日（木）

宿泊先

リソル生命の森

千葉県長生郡長柄町上野521-4

参加者

慶應義塾大学スポーツ医学研究センター 准教授 小熊祐子

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 助教（有期） 齋藤義信

見学の目的

リソル生命の森株式会社日本メディカルトレーニングセンターは日本の中でも、有数の健康増進施設・指定運動療法施設である。今回の研究「健康増進施設の現状把握と標準的な運動指導プログラムの開発および効果検証と普及促進」のうち、健康増進施設の現状把握について、実際の施設を見学し、また、設立当初より、メディカルドクターとして関わっておられる先生（稲次潤子氏）や、マネジメントに従事する職員の方（関川源一郎氏ほか）に、歴史的背景や変遷、現状などを伺うことを目的とした。

日程

8月30日 AM 稲次氏による施設概要講義

PM 施設見学

宿泊型健康増進プログラムに準じた宿泊体験

8月31日 AM ヒアリングおよび意見交換

稲次氏による施設概要講義

リソル生命の森は、1976年、日本土地改良（株）が健康、教育、文化を柱とする「健康教育都市づくり」に着手し、同年「真名カントリークラブ」を開場したのがスタートである。よく77年に別荘時133区画の分譲を開始した。その他、スイスのレマン湖をモチーフにした屋外プール、旧スイス大使館の建物を移築した和食レストラン、木造のイベントホールなど施設を拡大している。

米国で、“エアロビクス”がブームになる中、1985年には、「日本エアロビクスセンター」を開設した。この施設は米国テキサス州ダラスにある、Cooper Aerobics Centerより唯一その名前の使用が許された施設であり、当時稲次氏は同センターで直接研修をされておられる先生である。同施設は、屋内に200mトラック、トレーニングマシンや有酸素運動マシンを備えたフィットネスルーム、多目的体育館（面積2500m²）、プール（25m*6コース）、ダンスルームなど、屋外には400mトラック、アーチェリ場、一部ナイター設備を備えたテニスコート（8面）、多目的利用が可能な2つのグラウンドなどがあり、非常に充実している。レストランやカンファレンスルーム、セミナールームもある。宿泊施設もあり、現在もスポーツ合宿の場として国内外の多くのアスリートに利用されている。

同1985年に、日本エアロビクスセンター内に「エアロビクスクリニック」も開設された。当時の日本としては極めて先進的で、保健所より指摘を受け、同一フロアに運動施設と医療施設を併設することがかなわず、両者を分離した、という事情もあったということである。現在、「日本メディカルトレーニングセンター」は、運動型健康増進施設・指定運動療法施設の指定を受けている。

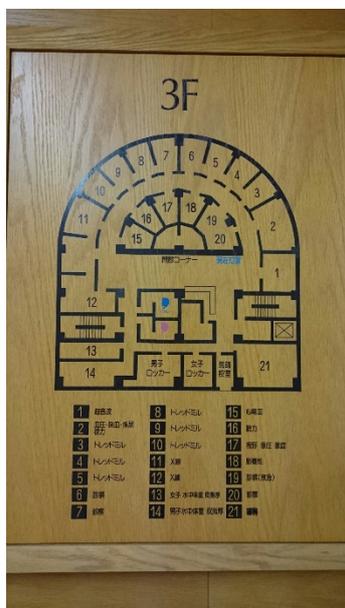
施設内に健康増進施設認定のプレートが提示してあった。また指定運動療法施設のメリットである”利用料について、医療費控除が受けられる“点については、あまり強調することのない記載にとどまっていた。



日本メディカルトレーニングセンター内に示された「健康増進施設」プレート

施設見学

クリニック内は設立当初より、運動負荷試験が複数並行して行えるような間取りに設計されていた（現在は一部運動負荷試験に使用）。また今では珍しい水中体重秤量法による体脂肪測定のための機器も設備されていた（現在は未使用）。



写真：クリニック見学の様子



多目的体育館、室内温水プール、フィットネスルームを有する「メディカルスポーツクラブ」では現在 2,000 名の会員が、体力向上や生活習慣病予防などを目的とし健康づくりに励んでいた。



写真：全天候型多目的体育館と室内プール

また、65 歳以上を対象とした、「ウェルネスエイジクラブ」では千葉大学予防医学センター監修の元、当施設の専門スタッフが個人にあったプランを提供しており、フィットネスやスポーツの他、多世代交流、趣味や遊び等を取り組むことにより健康寿命延伸を目指している、ということであった。

昨年度「スマートライフステイ」プロジェクトにも参画しており、現在は事業化し、1泊2日の宿泊型健康増進プログラムが提供されていた。ホテル型の宿泊施設ないしはコテージ型の宿泊施設を利用し、健康的な食事と合わせ、体験することができる。

ヒアリングと意見交換

1 日目の稲次先生からの講義および、施設見学・宿泊体験を踏まえ、ヒアリングと意見交換を行った。

時代の変遷、社会のニーズとともに、施設も変わってきており、時代にあった採算のとれるサービスの提供が必須であると考えられた。